

とき

vol.47

# 旬の人 上松さんが 防犯栄誉金賞を受賞

**上松 シズエ さん**  
(今福・仏坂、80)



安全・安心まちづくり松浦地区大会で岩田松浦警察署長から賞状の伝達を受ける上松さん



長年にわたり地域の防犯に貢献したことが評価され、上松シズエさんが10月2日、全国防犯協会連合会から防犯功労者の最高賞に当たる防犯栄誉金賞を受賞しました。

上松さんは、昭和61年8月に少年健全育成、非行防止、地域安全活動の推進などを目的に県下初の地域婦人部、農協婦人部、漁協婦人部の3部門を統合した「今福防犯母の会」を発足し、会長に就任。会員は約150人おり、月1回以上は約20人の会員が集まり児童生徒の登下校時のあいさつ運動や声掛け運動、今福小学校・今福中学校・今福駅周辺などの防犯パトロールなどを行っています。

また日ごろから、地域住民や児童生徒に防犯や少年非行防止を呼び掛けたり、防犯協会今福支部などの団体や関係機関と連携した犯罪予防の啓発活動にも積極的に取り組んだりするなど、その活動は地域社会からも高く評価されています。

上松さんは「松浦警察署から金賞に選ばれたと連絡をいただきました。会員皆さんの協力があつたからこれまで活動を続けることができ、受賞することができたと皆さんにとっても感謝しています。今後は、これまでの活動を続けることはもちろんですが、地域や子どもたちの安全・安心のためにも、育成会やPTA、特にお母さん方と一緒に駅に立ったり、防犯パトロールができたらいいなどと思っています」と話していました。

## 自分の考えを堂々と発表

松浦ライオンズクラブ第22回小中学生弁論大会が11月3日、文化会館で開催され、小学生の部で松坂拓海君(星鹿小6年)が、中学生の部で坂本竜平君(調川中3年)が最優秀賞に輝きました。

市内小中学校からの250点の応募の中から、各学校での事前審査で優秀賞の小学生11人、中学生7人が選ばれ、この日は将来の夢や願いなどをテーマに16人が登壇しました。

松坂君は「お父さんの病気を通して考えたこと」と題して、白血病で亡くなった父親の病気を通して骨髄バンク登録や献血の重要性を訴え、将来人のためになることを実行していきたいと発表。坂本君は「今日も僕は」と題して、陸上を通して諦めない強い気持ちや走ることの幸せと支えてくれた人への感謝の気持ちを述べ、「今日も僕は走る!」と力強く発表しました。また、「『命』そして『ありがとう』」と題して発表した中須賀歩さん(福島中3年)が審査員特別賞に選ばれました。



中学生の部最優秀賞  
の坂本竜平君



小学生の部最優秀賞  
の松坂拓海君

## 福島地区少年の主張大会

平成21年度福島地区少年の主張大会(福島地区青少年健全育成会、教育委員会主催)が10月21日、福島中学校体育館で開催されました。

この大会は、青少年の健全育成を目的に毎年開催。小学校5年生以上中学生までの全員に日ごろ感じていることなどを作文にしてもらい、その中から選ばれた小学生4人、中学生3人が保護者や地域住民を前に発表したものです。

審査の結果、小学生の部では「相撲を通して学んだこと」というテーマで発表した吉田大地君(養源小6年)、中学生の部では「『命』そして『ありがとう』」というテーマで発表した中須賀歩さん(福島中3年)が最優秀賞に選ばれました。



## 絵画コンクールで最優秀賞

環境とエネルギーについて関心を持ってもらおうと開催された、2009くらしとエネルギー絵画コンクール(九州電力長崎支店、長崎新聞社共催)に応募した庄司優香さん(志佐小1年)の作品が最優秀賞に輝きました。

庄司さんは「わたしのエネルギーのもと」と題して自分を元気にしてくれるものを描き、1・2年生の部で応募のあった200点の中からこの作品が最優秀に選ばれたものです。庄司さんは「元気が出るように色も工夫しました。最優秀賞がもらえてとてもうれしいです」と話していました。



## ながさき農林業大賞

地域の特色を生かした先進的な農林業を展開し、成果を上げている農林業者を表彰するながさき農林業大賞に次の方が選ばれました。

【運営委員会長賞】

〈しまの農林業経営部門(トップファーマー)〉



大石啓介 さん  
(鷹島・原、32)

大石さんは、平成15年の就農と同時に、親より畜産部門を継承し、牛舎の建設や作業機材の導入などを積極的に行い、現在は鷹島町最大となる36頭まで規模拡大をし、日々努力を重ねておられます。平成16年には家畜人工授精師資格を取得し、鷹島町で唯一の人工授精師として町内すべての人工授精業務を行っています。

また、農協青年部にも所属し、地元農業のPRや交流活動を行うなど、若い農業者のけん引役、地域畜産農家のリーダー的存在です。